

2022年3月3日

関係各位

公益財団法人日本国際フォーラム
理事長 渡辺 まゆ



ロシアによるウクライナ侵略は、戦後築かれた国際秩序の根幹を揺るがす深刻な事態であります。国際社会、そして日本はこの事態をどのように考え、向き合っていくべきなのでしょうか。

日本国際フォーラムは、この事態を受け、下記要領による緊急座談会を開催致します。

【開催要領】

1. 日時：3月8日（火）17時半～19時
2. 形式：Zoomによるオンライン
3. 主催：日本国際フォーラム
4. 共催：[「ユーラシアダイナミズムと日本外交」研究会](#)
[「ロシアの論理と日本の対露戦略」研究会](#)
5. 後援：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
6. 参加費：無料 ※定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込ください。
7. プログラム
開会： 渡辺 まゆ JFIR 理事長
議事進行：渡辺 啓貴 JFIR 上席研究員／帝京大学教授／東京外国語大学名誉教授
報告 A： 松壽 英也（7分） 津田塾大学専任講師
「ウクライナにとって『欧州』とは何だったのか」
報告 B： 袴田 茂樹（7分） JFIR 評議員／安全保障問題研究会会長
「ウクライナにおける非武装中立国家の可能性」
報告 C： 廣瀬 陽子（7分） JFIR 上席研究員／慶應義塾大学教授
「ロシアの近い外国政策とハイブリッド戦争」
報告 D： 常盤 伸（7分） JFIR 上席研究員／東京新聞元モスクワ支局長
「ウクライナ侵攻にみるプーチンの行動原理 体制崩壊か専制強化か？」
報告 E： 宇山 智彦（7分） 北海道大学教授
「プーチンの歴史観」
報告 F： 杉田 弘毅（7分） 共同通信特別編集委員
「米国のロシア外交」
自由討論：参加者全員（30分）
閉会： 渡辺 啓貴（5分） JFIR 上席研究員／帝京大学教授／東京外国語大学名誉教授

8. 申込方法：web フォーム(<https://forms.gle/91yThHhMdGwaqY3G8> ※右 QR コード) からアクセスし、3月7日(月)午後5時までにお申し込み下さい。お申込みいただいた皆様には、会合までにメールにて、Zoom 参加 URL、パスワード等の詳細を送信いたします。



問合せ：jfir@jfir.or.jp (担当：高畑)